

五月句会 互選 お題「プラス」

- 3 トッピングプラスしすぎて味微妙 純一
ひとつまみ真似のできない祖母の味 健一
人生はプラマイゼロがかっこいい 哲子
参院選何を目玉に票増やす 純一
まだ青春心の若さプラスして あき朋
窮地にもプラス思考が道拓く 哲子
4 売れ残り在庫整理でおまけつけ 基弘
無理をしたプラス思考がマイナスに 英二
ご機嫌の顧客見送りもう一軒 健一
人知れず積み重ねてるボランティア アキラ
流動食せてみてプラスのかみ応え 正清
6 振り返ってみればプラスになる苦言 郁子
7 追加して行方知れずの備蓄米 幸男
秀10. とびきりの笑顔を添えて出す新茶 広子

お題「ニュース川柳」(連記) 八木哲子選

- 巷では風呂で亡くなる人もいる えいじ
人も混み菌もいっぱい夢の洲 ひよこ
香港便にひびく根も葉もない噂 郁子
雷電の再来となる大の里 ちさと
米騒動裏で糸引く人がある きよな
見苦しい言い訳ばかり兵庫知事 基弘
イスラエル手も出ないガザ攻撃す 純一
小泉さん難しい顔似合わない 広子
トランプのお陰で溜まるマイレージ 英二
小泉さん奈良は未だかな古古古米 乃り子
佳 報復に反ダンピングしてなんぼ 正清
佳 主食といって実は無知わたしたち 千楽
佳 米価だけ小幅の値下げ詐欺まがい 幸男
佳 日本人の心掴んだ巨星逝く 健一
佳 巻き添えが未来の命奪ってく ミチ
秀 ともかくも豊作祈る米不足 アキラ
軸 国力が少子化により削がれゆく 哲子

お題「慌てる」(共選) 田中純一選

- 慌て過ぎ大放出の備蓄米 基弘
放言を慌てて否定ツーレイト 健一
来たウワサの彼女急げ大掃除 千楽
締め切りが迫って駄作ボツになる 幸男
慌てると手中の幸も逃げてゆく 哲子

慌てると人が変わると自覚する
後三分駅までダッシュ朝練に
きよな

- ハックションチャック破れた試着室 広子
へソクリを隠した場所が記憶ない 乃り子
佳 災害時せつかちな人役に立つ 幸男
佳 慌ててもあとの祭りの誤送信 郁子
佳 玄関に忘れてきたよ御香典 えいじ
佳 減反のツケがまわって大慌て アキラ
佳 セルフレジ眼鏡外して深呼吸 英二
秀 信号の向こう同じ服着た若い美女 広子
軸 あたふたと前走者抜きホームイン 純一

お題「慌てる」(共選) 山神きよな選

- 信号の向こう同じ服着た若い美女 広子
慌てずに頃合いを見て迎え来い アキラ
減反のツケがまわって大慌て アキラ
終点に着いて目が覚め後がない 正清
慌て過ぎ大放出の備蓄米 基弘
来たウワサの彼女急げ大掃除 千楽
放言を慌てて否定ツーレイト 健一
五分前スピーチ忘れ大慌て 純一
へソクリを隠した場所が記憶ない 乃り子
佳 慌てると人が変わると自覚する えいじ
佳 AIが川柳造るうがちある 乃り子
佳 慌てるとさらに慌てるハプニング 郁子
佳 災害時せつかちな人役に立つ 幸男
佳 慌てると手中の幸も逃げてゆく 哲子
秀 慌てぬよう大事に過ごす残りの日 哲子
軸 後三分駅までダッシュ朝練に きよな

お題「たっぷり」(共選) 小妻健一選

- たっぷりの愛が負担になることも 郁子
たっぷりの蜂蜜が好き朝のパン えいじ
たっぷりの遺産子供に良し悪し アキラ
たっぷりの遺産子供に良し悪し 純一
大の里能登に笑顔の種をまく 英二
ひとり蕎麦つゆにたっぷり漬けて食べ 基弘
たっぷりと皿に盛り付けまだ悩む 哲子
なぜだろう溢れる愛を受けた子が 郁子
たっぷりの墨に勢いみつをの書 乃り子
タマらないとろけるチーズしたたって ひよこ
佳 たっぷりと絞られ心縮こまり ひよこ
佳 たっぷりの好物前に元氣出る アキラ
佳 小泉劇場たっぷり見せていざ選挙

佳 たつぷりのお湯に首までほっこりと きよな
佳 好奇心順番待ちの本の山 ミチ
秀 妻の留守ソースしよう油をたつぷりと 英二

軸 今じゃもうたつぷりよりも美味がいい 健一

お題「たつぷり」(共選) 近藤郁子選

妻の留守ソースしよう油をたつぷりと 英二

たつぷりの遺産子供に良し悪し アキラ

ひとり蕎麦つゆにたつぷり漬けて食べ 英二

なぜだろう溢れる愛を受けた子が 哲子

たつぷりの好物前に元気出る ひよこ

たつぷりが聞いてあきれる猪口二杯 ちさと

時間だけたつぷりあるが動けない えいじ

小泉劇場たつぷり見せていざ選挙 アキラ

笑顔たつぷり長嶋さんに有難う 純一

佳 好奇心順番待ちの本の山 ミチ

佳 今じゃもうたつぷりよりも美味がいい 健一

佳 気持ち込め筆たつぷりに夢と書く 哲子

佳 大の里能登に笑顔の種をまく 純一

佳 大放出陳列棚にたつぷりと 基弘

秀 好きなもの好きなだけ食べこのボディ 広子

軸 たつぷりの愛が負担になることも 郁子

課題吟 今月の秀句

お題「プラス」五月句会互選

とびきりの笑顔を添えて出す新茶 広子

お題「ニュース川柳」(連記) 八木哲子選

ともかくも豊作祈る米不足 アキラ

お題「慌てる」(共選) 田中純一選

信号の向こう同じ服着た若い美女 広子

お題「慌てる」(共選) 山神きよな選

慌てぬよう大事に過ごす残りの日 哲子

お題「たつぷり」(共選) 小妻健一選

妻の留守ソースしよう油をたつぷりと 英二

お題「たつぷり」(共選) 近藤郁子選

好きなもの好きなだけ食べこのボディ 広子

自由吟 野々村アキラ選

朝夕に挨拶ちゃんと大工さん

読めないねキラキラネーム土俵でも

殺し合いやってくれ離れ小島で

やめてよねゴザイマスなど石破さん

基弘

なにげない言葉一ツが胸に傷

つまづいてこけぬ自分を一人ほめ

幸せは悩みがなくて寝れる夜

事故時のスローモーション止められず

義雄

核よりも米が先だと知る日本

トランプによく似た総理居た昭和

最真目に鏡の顔を見て暮らす

肩書を取れば楽しく家族葬

乃り子

わだかまりていねいに解き今日は晴れ

御仏飯週末だけはトーストで

スマホに子守りさせてママ友ランチする

五十年一緒にいてもまだ他人

ちさと

はびこりてうつを根こそぎ草むしり

現し世を恙なくして梅雨最中

うふふふ後は言えないご想像

紫陽花が開きぼさつが顔を出す

健一

備蓄米ブランド米を炙り出し

空振りも心に響く長嶋さん

草野球四番サードの奪い合い

3ばかり野原を駆ける背番号

郁子

二万円よりお米クーポン券欲しい

市街地に旅客機落ちてくるリアル

朝ドラの戦時未来へメッセージ

始まりは自衛のためと言う戦

正清

振り向けば心は無縁仏さま

気に入りの景色先妣の骨を撒く

心臓を開き閻魔が表立つ

夜叉になるなりそこなつて虫になる

栄光の3長嶋茂雄永遠に
米騒動小泉さんが健闘だ
トランプの辞書に「秩序」はないようだ
川柳で人生訓を学んでる

純一

朝の雨体操休み又寝入る
亡き友の家解体で浮かぶ顔
花生かす解体前にお引越
燕の巢の口ばし黄色ヒナの声

きよな

スマホ鳴る誰かと見ればアンケート
紫陽花の青美しい雨の朝
雨粒が木からパラパラ朝の庭
雨の日のホタルブクロはうつむいて

ひよこ

父のこと記憶頼りの庭仕事
はい承知不器用だねとりハビリで
一日で元の木阿弥台所
庭仕事始めて会話増えてきた

ミチ

ささやかな暮らし揺るがす米不足
元氣だね言って言われて老いの友
粘ったら敵の失策きつとある
富士山は遠くから見て美しい

アキラ

上等の新茶淹れるも芸のうち
奈良博の実力見せた超国宝
目標はちよつと緩めに立てる癖
紫陽花の青初恋の人のよう

広子

潮来笠音を外さぬ橋幸夫
イスラエル金持ちなのに喧嘩好き
アジサイに引き継ぎ終えてサツキ散る
衣更えまずユニクロに出かけます

英二

目が合うと大抵のこと見抜かれる
自己中で予想がハズレあたふたと
買い物について行っても邪魔になる
入院でテレビ見るしか能が無い

えいじ

新緑の木陰を渡る初夏の風
紫外線容赦なく刺す老いた肌
テレビから学んだレシピ星三つ
カレンダー予定書きこむ嬉しい日

哲子

勉強会「雨」 出席者互選

- 3 もっと降れ村の山火事消してくれ 千楽
降る雨を変えてしまった地球人 郁子
みつをの詩渴くところに慈雨となる アキラ
雨よ降れ雨よ降るなと田を見つめ アキラ
雨男自分じゃないと知らんふり 健一
4 雨宿り一人二人と仲間増え 純一
雨が降るそれも楽しい友と旅 えいじ
秀5 傘忘れ妻の又かに天仰ぐ 純一

勉強会「雨」 奥村義雄選

佳 雨よ降れ雨よ降るなと田を見つめ アキラ
農作物の豊穰には、相反する気象条件の適宜組み
合わせが求められる様ですが、それを可能にする
のは人智を超えた世界の話、どちらに片寄っても
困りものですが、どうしようもなくと・正直に
詠んで居られ共感を誘われます。

佳 雨が降るそれも楽しい友と旅 えいじ
失礼ながら何の変哲も無い凡句の様で有りなが
ら、ふと気を誘われる何かがある不思議な句。

佳 雨乞いもゲリラ豪雨も困りもの 郁子
佳 降る雨を変えてしまった地球人 郁子
両句、環境問題がテーマの時事吟。我々人類が生
存し続け得る為の喫緊の課題とされる環境問題
を素材に採り上げられた意気や良し、と称えられ
るべきですが、手にされるツールはわずか十七文
字のみ。新聞や句誌でしばしば目にする時事吟の
大半が新聞の見出しを借用し安易な詠嘆で終る
類のもの。作者には是非新境地の時事吟を目指し
て頂けたらと思います。

秀 みつをの詩渴くところに慈雨となる アキラ
相田みつをさん、日本人の心情にピッタリ嵌まる
数々の素晴らしい詩の作者。その作品は読む人
の心の泉となり、日常生活でひび割れた心に潤
いと安らぎを、更には明日への活力を齎せて(も

たらせて）呉れます。そんな「みつをの詩」を
慈雨に例えた作者の日常が羨ましく偲ばれます。

推薦十句 森里えいじ選

セルフレジ眼鏡外して深呼吸	英二
妻の留守ソースしょう油をたつぷりと	英二
幸せは悩みがなくて寝れる夜	基弘
鼯目に鏡の顔を見て暮らす	義雄
わだかまりていねいに解き今日は晴れ	乃り子
ささやかな暮らし揺るがす米不足	アキラ
元氣だね言って言われて老いの友	アキラ
目標はちよつと緩めに立てる癖	広子
衣更えまずユニクロに出かけます	英二
傘忘れ妻の又かに天仰ぐ	純一

七月十日（木）十三時～ いきいきホール一階
勉強会 お題「海」二句 前日までに事前投句
参加者の互選 ご自由に参加を 投句のみも歓迎

七月二十一日（月）七月句会 十二時四十分開場
十三時互選開始 南集会所
「ビール」互選 「ニュース川柳」（連記）乃り子
「沈む」ミチ えいじ 「やつぱり」基弘 千楽
各二句 自由吟アキラ四句 「推薦十句」英二
事前投句〆切七月十九日（土）十五時

五七五で日々の想い・喜怒哀楽を
楽しく詠んでいます

新入会員、いつでもどうぞ
入会金無し 会費月百円
誰でもできます

句会 毎月第3月曜日 十三時～
会場 いきいきホール二階
＊投句も歓迎です 電話ください

お問合せ

原 広子（79・0061）
野々村アキラ（090・6961・1292）